

## 金栄校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成 23 年 7 月 8 日 (金) 19 時～21 時  
場 所 金栄公民館  
参加者数 男 5 2 人 女 2 2 人 合計 7 4 人



(質 問)

① 駅の南北連絡橋が非常に傷んでいる。平成 25 年度までに整備されるということですが早く出来るように見直して頂けたらと思います。

(回 答) 市長

① 現在、設計をしています。来年から建設にかかる予定ですが、鉄道を渡る工事は通常の橋をかけるよりは少し時間がかかるので出来るだけ早くということではすすめていきます。

### 1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

共通

回答者：市長

まず、東日本大震災以降のことを共通理解として説明いたします。

(東日本大震災後の対応についてパワーポイントで説明。)

この地域の震度は南海地震の場合には震度 5 から 5 弱と想定されている。津波による浸水については平成 15 年中央防災会議という国の機関が想定し、そのあと国土交通省が瀬戸

内海において津波予測をしたものです。満潮時の平均1.6m、津波高としては2.0mを想定されている、堤防が決壊しなければ浸水は想定されていない。

(堤防が全部決壊した場合の津波による浸水予測を図面で説明。)

情報伝達として、この4月から防災無線、市役所と公民館など23局が無線でやり取りができる。停電時もバックアップして出来る。国領川、東川など5箇所にも無人の監視カメラを設置し水位観測ができる。今後、行政無線システムを補完するものとして自治会の広報塔をこのシステムにつないで一斉に情報を流せるシステムとしていく。防災のリーダーの養成も3年間で150人行う。県内の外の自治体、スーパーなどと災害協定を結んでおり、今後も増やしていきたいと考える。急傾斜地、土石流危険区域についてはH16年の災害を受けて、市内で60か所の対策を実施している。被害想定の見直し、中央防災会議とか国の専門機関で南海地震の震度とか津波の基本をやってもらわないと我々では出来ないが、地域防災計画としては地震対策とか防災教育を充実し情報発信していく。地震、大津波の対策についても見直していく。そういうことを基本において個別のお答をいたします。

課題名 (自然災害に対する備えや避難について)

討議内容 (要約)

(質問)

- ① 市で防災マニュアルを作成して各戸に配布して地域の防災力の向上を図って頂きたい。
- ② 大雨や大津波など自然災害に対するハザードマップを示して頂きたい。また、金栄校区の各自治会館は海拔何mくらいになるか、また予想されている南海地震が東日本大震災と同規模で発生した場合、予想される津波がどのあたりまで到達するか。
- ③ 避難所の勧告や指示の伝達はどのように行われるか。

(回答) 市長

- ① 小冊子とかマニュアルとか防災マップとか、これまでも全戸配布してきたが、時間がたつと内容も見直さないといけないし、今回の情報を受けて見直していきたいと思えます。共通のものは全戸、地域性のあるもの、地域の防災マップのようなものは地域の皆様と一緒に作っていくことが必要となります。
- ② 大津波等のハザードマップも見直しが必要。土石流、急傾斜地の危険箇所も把握しており個別に情報を流したりする仕組みは出来ている。津波は東日本大震災の時、瀬戸内海側では40cmの警報が出ていた。自治会館の標高については西の土居自治会館が8m、滝の宮自治会館が16m、政枝西自治会館が16m、政枝集会所が16m、高木自治会館が12m、駅前自治会館が14mです。また資料としてお渡しをしていきたいと思えます。
- ③ 避難勧告や指示の伝達ですが、土砂災害、浸水については個別の避難勧告になると思えますが、地震の際は全体の避難勧告になる、あらゆる手段で避難勧告を行うことを決

めている。新しい方法としては無線による広報が加わった。

#### ※再検討事項

なし

課題名（避難所の配置体制について）

討議内容（要約）

（質問）

- ① 避難場所と指定されている場所で学校などの広い場所は、どの場所へ避難してよいか迷うので事前に図面か文書で事前に教えて頂きたい。
- ② 教職員の施設の受け入れ側での役割分担が出来ているか。
- ③ 災害が来た時等に受け入れ態勢が出来るまでの時間は。
- ④ 防災訓練の実施。毎年、繰り返し行って頂きたい。
- ⑤ 防災システムの整備に市の予算を多く、早く整備してほしい。

避難所の配置について

- ① 地震の場合は震度によって避難勧告をだすかどうかを決めることになる。基本的な避難所の考え方は水、給湯設備があって避難所の管理として市の職員がおり、学校、公民館、公共施設を第一の施設として指定している。受入数は金栄校区で5400人、国に2m<sup>2</sup>に1人という基準があり、それで公共施設の面積で割ると基準は満足している。自治会館を避難場所として使用することであれば連絡を受けてこちらから世話をしていくことは可能ではないかと考えます。学校の部屋割までは現実的に難しいと思います。
- ② 教職員の役割ですが、避難所の運営そのものは市、教職員は子供への避難誘導が最優先で、学校が避難場所になった時は協力も頂いておりますが、防災計画の中で教職員の役割は位置づけていません。
- ③ 受け入れについては、風水害の場合は事前に準備をしておいて避難勧告を出せば必ず受け入れが出来る体制をとっている、ただ、いきなり大地震が起きて、それが夜間等の場合、担当の職員が鍵を預かって対応することとしているが、そのシステムも見直しをしている。
- ④ 防災訓練はこれまで川西、川東、上部を3年でまわしているが、防災スクールモデル事業というのがあり、金栄校区では毎年、校区単位の防災訓練を実施している。そういうところに消防などが一緒になってきめ細やかなことをしていく。
- ⑤ 防災システムは現在、公民館、総合福祉センター、ウイメンズプラザ、小学校に放送用のスピーカーを設置していますが、各自治会の広報搭とのシステムをこれから作っていく。公民館は拠点になるので双方向の通信が出来る。

※再検討事項

なし

課題名（災害時の避難場所について）

討議内容（要約）

（質 問）

- ① 災害時の避難場所の条件はどのようなものがあるか。
- ② 金栄公民館はなぜ避難場所になっているのか。
- ③ 金栄小学校、総合福祉センターも避難場所に指定された地区は。
- ④ 滝の宮地区は、川西高齢者福祉センター、慈光園の指定はどうか。

（回 答）市長

- ① 避難場所の指定の条件は給水施設や給食施設が出来ており、人の受け入れが出来るのが第一の前提となっている。公立の施設を指定している。
- ② 金栄公民館も指定していますが、風水害の場合は、総合福祉センターを指定している。
- ③ 尻無川と東川の間は総合福祉センターとなる。大地震の後、川の氾濫が予想されるときによっても避難ルート、場所が変わってくる。
- ④ 川西高齢者福祉センターと旧慈光園は土砂災害警戒区域となっているので、地震、風水害の場合にも避難所としては適当ではない。

※再検討事項

なし

課題名（土砂災害（山崩れ）傾斜危険地域の避難について）

討議内容（要約）

（質 問）

- ① 山崩れが発生した時の対処（防災無線による緊急通報）、各関係箇所への通報連絡体制は。
- ② 避難場所の特定及び誘導の方法
- ③ 水や食糧等（ライフライン）の供給の仕方。
- ④ 以上の時の自治体の役割分担及び連絡
- ⑤ 地震の時に指定されている学校とか公民館等は遠いので自治会単位での耐震の建物の避難マップを作ってほしい。
- ⑥ 自治会館を避難場所として事前に申請していればOKなのか。
- ⑦ 自治会館の耐震診断はしてもらえるのか。

（回 答）市長

- ① 避難勧告の対象地域については代表者に直接連絡をする。防災行政無線とか消防車両、広報車両とかで広報する。
- ② 避難勧告を出すときに避難場所は指定する。あらかじめ、体の不自由な方等については早めに避難ということになり、時間によって介助者がいない場合は消防団とかの協力を得る。
- ③ 水の確保は給水車が1台あるが、どこまでの給水車などの用意をするかは見直しをする。
- ④ 避難勧告について該当地域はもちろん自治会長に連絡をすることになっている。
- ⑤ 地震に対する避難所、余震の影響があつて自主的に避難する場合もあり、本部から避難勧告を出す場合もある、各自治会とか集会所の耐震を考慮し、あらかじめリストアップする。
- ⑥ 避難勧告し避難場所に避難してもらうということは避難場所へ来れば市で食事等も用意するというのが前提であり、自治会館の場合は自治会の中で約束事として決めておかなければ、いざという時にやりとり出来ないのではと思っている。
- ⑦ 自治会館の耐震診断についてはまだルール作りが出来ていない。

※再検討事項

なし

## 2. 校区設定市政課題

課題名（金栄小学校プールの安全性及び老朽化について）

討議内容（要約）

（質 問）

- ① プールの新設は耐震工事が終了してからとのことだが、具体的にいつ頃から設計や着工になるのか。

（回 答）市長

- ① 今年と来年で小中学校、体育館も含めた耐震工事も完了する。平成25年度以降の学校教育施設の改修計画について優先順位を決めて計画をするように教育委員会に指示している。全体の状況を見て出来るだけ早く取り組めるように教育委員会と協議をしている。

※再検討事項

なし

課題名（金栄小学校運動場の整備について）

討議内容（要約）

① グランドの土の入れ替えの検討をして頂けないか。

（回 答）市長

① 運動場につきましても学校教育施設全体で優先順位を決めさせていただきたいと思えます。

※再検討事項

なし

課題名（高木歩道橋及び周辺の整備について）

討議内容（要約）

（質 問）

高木歩道橋の整備、高木橋の手すりの塗装。

（回 答）市長

歩道橋、橋の管理につきましては愛媛県の管理でございますが、平成 22 年度に点検を実施し、復旧が必要であり大規模な補修となり予算要求を行っております。

※再検討事項

なし

### 3. 地域課題

課題名（1 尻無川兩岸、堤防上の道路整備及び線路上の通行について）

質疑応答（要約）

（質 問）

尻無川兩岸堤防道路を南北につなげ JR 線路上を通行できるようにしてほしい。

（回 答）伊藤道路課長

尻無川を管理する愛媛県に確認したところ、河川改修計画があり改修後も現況程度の幅は確保できるので通行には支障はありませんということです。鉄道上の通行については JR 松山保線区に確認しましたが、鉄道を人が横断することについては非常に危険ですので許可は出来ないということです。

※ 再検討事項

なし

課題名（2 カーブミラー設置依頼の件）

質疑応答（要約）

（質 問）

駅前中央公園側からの T 字路は見通しが悪いためカーブミラーの設置を要望します。

（回 答）伊藤道路課長

現地を確認し、西側の見通しが悪いため設置を検討します。自治会から交通安全施設申請書を提出して頂ければと思います。

※ 再検討事項

なし

課題名（3 児童通学路の転落防止用安全柵補強について）

質疑応答（要約）

（質 問）

ガードレールの下部に隙間があり、通学路でもあり、用水路に児童が転落する可能性もあり、転落した場合、発見がしにくいので転落防止用の安全柵を設置してほしい。

（回 答）伊藤道路課長

堤防道路につきましては県の河川堤防となっております。県と協議し安全対策を検討します。

※ 再検討事項

なし

課題名（4 防犯灯の高さ及び向き変更、増設について）

質疑応答（要約）

（質 問）

防犯灯が少なく、向きも道路側を照らしている。高さ、向きを変更してほしい。

（回 答）市長

道路照明については危険度の高い箇所は道路管理者として設置をしますが、防犯灯については自治会が設置をしていただきたい。自治会には防犯活動交付金を出している。これについても自治会の所有だと思われるので、自治会のほうで検討をお願いいたします。

※ 再検討事項

なし